



# 広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行 8月20日 No.226

## 町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ：鳥 ホオジロ：木 イチョウ



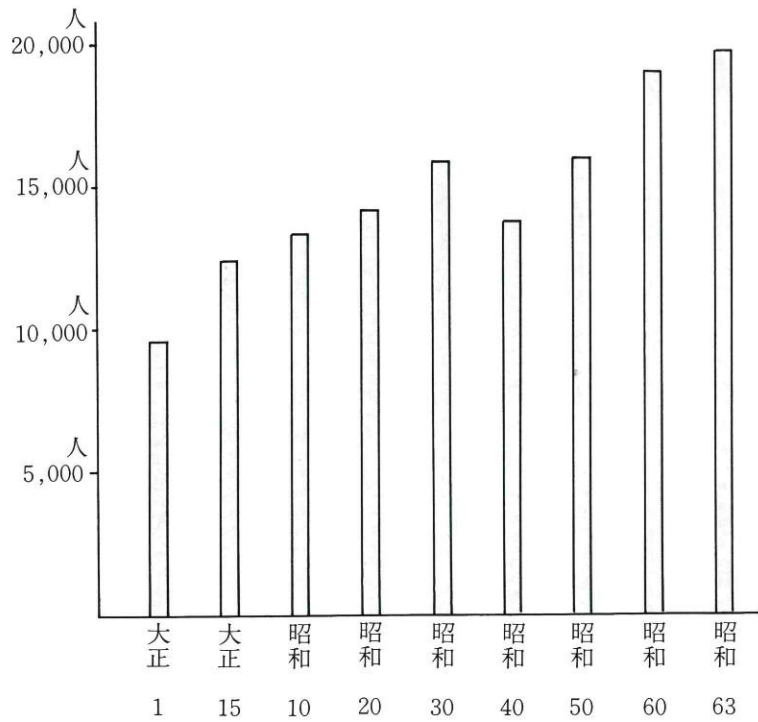
## 手をあげて左右を確認!!

### 横断歩道の正しい渡り方を学ぶ

交通弱者を対象とした交通安全教室が、8月1日、梶山小グラウンドで開かれました。

これは、交通安全協会第4地区会（委員長安田義英）が開いたもので、ひまわり保育園児、梶山小児童、老人クラブ会員など250名が参加。都城警察署員や婦人交通指導員の指導を受けながら、横断歩道の正しい渡り方などを学びました。

# 63 / 8月号



年次	人口	世帯数	1世帯当たり平均人口
大正1	9,265 <sup>人</sup>	1,285 <sup>戸</sup>	7.2 <sup>人</sup>
15	12,638	1,949	6.5
昭和10	13,257	2,357	5.6
20	14,956	2,981	5.0
30	16,158	3,296	4.9
40	14,803	3,672	4.0
50	15,789	4,693	3.4
60	18,832	5,911	3.2
63	19,855	6,441	3.1

〔注〕主に国勢調査、63年は8月1日現在

### 町制施行40周年記念

## 「人口クイズ」に応募しませんか?!

三股町の人口が20,000人に到達する日を当ててください。

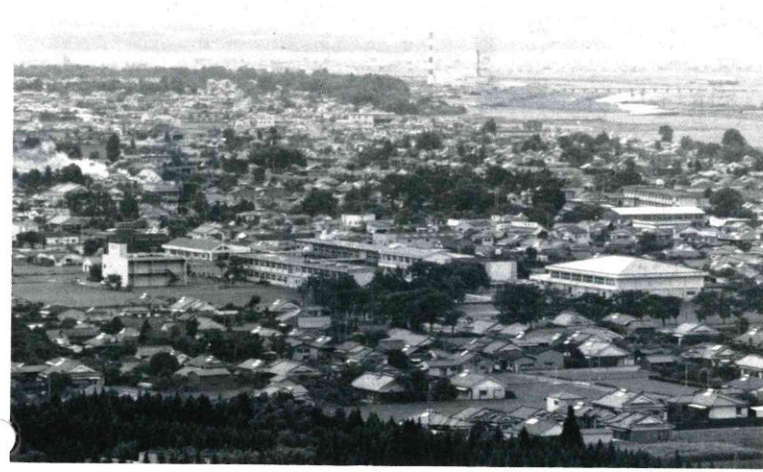
#### 昭和63年の人口の推移

月	人口
1月	19,635 <sup>人</sup>
2月	19,694
3月	19,708
4月	19,694
5月	19,717
6月	19,749
7月	19,810
8月	19,855

(毎月1日現在)

- 一、応募方法  
官製はがきに住所・氏名・年齢・職業(又は学校名・学年)を明記の上、三股町の人口が二〇〇〇〇人に到達する年月日を記入して応募してください。ただし、一人三通以内とし、宮崎県内に居住している人であれば、どなたでも結構です。ただし、三股町役場職員は除きます。
- 二、応募資格  
昭和六十三年九月一日(昭和六十三年九月三十日(当日の消印まで有効))  
ピタリ賞一名、入選者若干名、記念品を贈呈します。ただし、正解者多数の場合は抽選で、また正解がない場合は、到達日に最も近い日を正解とみなします。
- 三、応募期間  
昭和六十三年九月一日(昭和六十三年九月三十日(当日の消印まで有効))
- 四、当選者  
ピタリ賞一名、入選者若干名、記念品を贈呈します。ただし、正解者多数の場合は抽選で、また正解がない場合は、到達日に最も近い日を正解とみなします。
- 五、当選発表  
本人に通知するとともに、広報紙等に掲載します。
- 六、応募先  
六九一宮崎県北諸県郡三股町五本松一番地二  
三股町役場企画開発課(☎〇九六六一五一一二)

記



わたしたちのまち三股町は、明治二十二年に村制、昭和二十三年五月三日には町制を施行し、今年置村百年、町制施行四十周年を迎えました。

三股町には発掘される土器などから、新石器時代には各所に人が住んでいたことがわかります。

また、その名の起源は「古くは川三条、股になりて流れたり」と古書にあって、大淀川の支流が本流と合流する北諸の東部一帯を「水俣」や「三俣」と呼んだことが記されており、その名「三股」をとどめたといわれています。

三股町の現在の区域が確立したのは明治三年になってからのこと。当時の地頭三島通庸が勝岡郷と梶山郷および中郷の一部であった宮村を合併して三股郷を建設、山王原を三股郷の中心に決め、産業を奨励し教育の振興を図って現在の三股の基礎が築かれました。

明治二十二年市町村制が布かれると同時に三股村となり、

# 今年、置村百年 町制施行四十周年

## 十一月上旬に記念式典を計画



三股町の基礎を築いた三島通庸の銅像

六十年後の昭和二十三年五月三日町制を施行し、名実ともに三股町として発足しました。

以来、今日まで四十年にわたり地方自治の振興発展につとめながら、公営住宅や町立病院、老人ホーム、児童館、学校、公民館、体育館など数多くの施設を建設し、また道路整備や都市計画事業などを強力に推進して住民の生活環境整備、福祉・教育の充実に努めるとともに、農畜産業や商工業を振興して、明るく住みよい豊かな町づくりに邁進してきました。

今や人口約二万人、誘致企業は二十社を数え、豊かな田園工業都市として、二十一世紀に向けて更に躍進しようとしています。

このような今日の発展の陰には、幾多の困難な事態に対して、強靱な精神と情熱を傾注して尽力された先人の労苦があったことを忘れてはいけません。

町制施行四十周年を迎えるに当たり、先人の努力のあとを偲び、



旧庁舎



新庁舎

その偉業に感謝するとともに、将来への一層の発展を期して、十一月上旬に記念式典を開催する計画です。

町民みなで、三股町の満四十年を祝福しましょう。

# 勲六等単光旭日章を受章

## 山元 忠博氏(七十二歳)

### 福祉センターで祝賀会を開催



山元氏から叙勲の伝達を受ける山元氏

前町議会議長の山元忠博氏(72)が、昭和六十三年春の叙勲で勲六等単光旭日章(地方自治功労)を受章され、その祝賀会が七月八日老人福祉センターで開かれました。

祝賀会は協賛会方式で行われたもので、町内の有志約八十名が出席して氏の栄誉を称えました。

祝賀会では、まず協賛会長の桑畑町長が氏の経歴や功績を紹介。続いて有村町議会議長が祝辞を述べられた後、受章者の山元氏が「私

は与えられた任務を遂行してきただけのことで、栄ある勲章をいただいたことにとっても感激しています……今回の受章を契機に、今後とも郷土発展のため尽力したい」とお礼を述べられました。

氏は、昭和十四年に関東局巡查を拝命され、終戦まで旅順警察署に勤務されてきました。その後、昭和二十六年に三股町に奉職され、昭和四十二年三月までの十六年間に消防主任や商工観光課長、議会事務局、選挙管理委員会事務局長などを歴任され、町政伸展に尽力されました。

昭和四十二年四月には三股町議會議員選挙に当選、以来昨年四月まで通算四期十六年にわたり、町議會議員として卓越した政治手腕を発揮されました。この間、正副議長、文教厚生常任委員会委員長などの要職を歴任され、議会の円滑な運営と地方自治の振興発展に多大の貢献をされました。他面、昭和四十六年四月から二



にぎわった祝賀会

### 第三日曜日は

## 『家庭の日』

心身ともに健やかな子どもを育てるためには、家庭が一番大切です。家庭は愛と憩いと教育の場であり、子ども達の人格の基礎をつくります。

そして、それは親と子の暖かいふれあいによって生まれるものでもあります。ところが多くの家庭が毎日の仕事におわれて、子ども達にかまっておれないというのが実情のようです。

そこで毎月第三日曜日を「家庭の日」として定め、家族みんなで暖かい心のふれあいを持ち、明るく楽しい家庭づくりを考えようというものです。すべての家庭がこの日をきっかけとして、毎日が「家庭の日」になるよう努めましょう。



家族みんなで話し合いの場をつくろう

## 新刊図書のお知らせ

町立図書館では、次の図書を手に入れました。ぜひ、ご利用ください。

### 書名 著者名

- シリーズ自然とあそぼう動物編 全十巻 中嶋 博和
- シリーズ自然とあそぼう植物編 全十巻 中嶋 博和
- バカにつける薬 呉 智英
- 人づくり風土記三、岩手 大石慎三郎
- 日本歴史文学館二十一巻 村上 元三
- 田沼意次(下) 村上 元三
- ビジュアルワイド新日本風土記 一、北海道 市川 健夫
- 十四、神奈川 //
- 四十六、鹿児島 //
- 勉強術仕事術私の方法 竹内内 均
- 螢 草 連城三紀彦
- ハンサムガールズ 森 瑶子
- なんでもはかせのなんでもシロップ キツッキさん大かつやく 舟崎 克彦
- 管原 光二
- かいじんゾロのうちゅうめだまや 大さくせん 矢崎 節夫
- おばあさんのふしぎなねこ 岡 信子

アルマのくしやみに気をつける

ないた赤おに 武谷千保美

帰ってきたむく犬 ウィーダ

とらにすずをつけたねずみ マリ・ストルーズ

わすれんぼうをなおすには 角野 栄子

にげるんだサンちゃん 岩崎 京子

ぼくらの花リメル、バンザイ! クロード・ロワ

ニヤンニヤン忠臣蔵 瀬川 昌男

さよならピーコ 竹野 栄

ユカにとどいたふしぎな手紙 上崎美恵子

ぼくとキキのアフリカ・サファリ 神戸 俊平

魔法を売る店 HG・ウエルズ

風の又三郎・よだかの星 宮沢 賢治

クマと大地とわたしの物語 A・コジエブニコフ

月女と星丸 浜野 卓也

初恋物語 ユー・ヨブレ

犯人をさがせ、悪ガキ三人組 竹崎 有斐

音吉少年漂流記 春名 徹

おれがあいつであいつがおれで 山中 恒

はるかなる黄金帝国 やなぎやけいこ

## 図書館

だより(第三十一号)

### 第十四回 ぶどうの会

お母さんの読み聞かせ、大好きなお母さんの声を子どもは感動をもって聞きます。語る喜びと聞く喜び。すばらしい読み聞かせは清水のように子どもの心にしみ込みます。こうして、豊かな心は育ちます。

夏休みです。この夏、楽しい感動浴をさせるチャンスです。ぶどうの会では、八月五日(金)



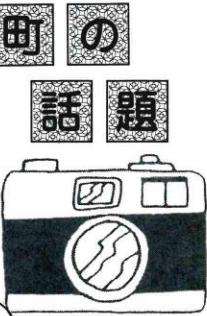
午前十時から図書館に於て、幼児、小学生三十余名を対象に読み聞かせ・語り聞かせをしました。



始める前に綿密な打ち合わせ

### 読み聞かせの内容

- 吉田ハツ子 「さんまのさんすう」
- 国谷 里子 「しろうさぎとくろうさぎ」
- 田口美佐子 パネルシアター
- 中村チズ子 「さんまのおふだ」
- 楠原 和代 「くまの子ウーフ」
- 宮原 悦子 紙芝居
- 「しよじよじのためきばやし」



献血功労者に対する日本赤十字社の表彰伝達式が、先ほど役場町長室で行われました。これは、日本赤十字社が献血事業の普及効果を高めるため行っているもので、献血を五十回以上した人には金色、三十回以上の人には銀色の有功章が贈られました。

### 献血功労者を表彰 日本赤十字社



受章者は次の方々です。(敬称略)  
五十回以上 東 政直(三十回以上)  
尾辻公一 松山耕二 前田 万  
感謝状(五年以上献血功労団体)  
聖天(株)宮崎工場

### 公民館大会を開催

「地域の連帯を強め、明るく豊かな住みよい地域づくりをめざそう」をスローガンに、去る七月三十一日、公民館大会が中央公民館で開かれました。

大会には、各地区の役員約九十名が参加。第三地区の上村辰巳公民館長と第四地区の永山親義保体部長の事例発表、民俗芸能研究家の鳥集忠男氏の「ふるさとへの心」と題した講演が行われ、参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。



### ホールイン・ワンが続出 グラウンドゴルフ大会

町民の健康づくりと親睦を目的としたグラウンドゴルフ大会が、七月二十四日旭ヶ丘運動公園で開催されました。

大会には中高齢者百十五名が参加。試合は三十二ホールの個人競技で行われ、参加者はさわやかな汗を流していました。

- なお成績は次のとおり
- 男子の部
  - 優勝 城戸 隆
  - 二位 和田義光
  - 三位 橋口勝義
  - 女子の部
  - 優勝 南畑トシエ
  - 二位 永吉道子
  - 三位 中村千矢子
  - 団体の部
  - 優勝 植木Aチーム



### 「止まって確認」を呼びかけ 交通安全キャンペーン

「止まって確認」を主眼に、交通安全協会三股支部(支部長福重義)は七月二十六日、東高校前の沿道で交通安全街頭キャンペーンを行いました。

これは夏の交通安全県民総ぐるみ運動にちなんで実施したもの。キャンペーンには支部役員や婦人部、警察署、交通指導員など四十名が参加。ヤクルトやチラシを運転者に配布しながら「止まって安全を確認しましょう」と呼びかけました。

### 勝岡小が準優勝に輝く 全日本少年剣道練成大会

全日本剣道道場連盟が主催する第二十三回全日本少年剣道練成大会が、八月四日、日本武道館で開かれ、本町の勝岡小剣道チームが第一コートで、準優勝に輝きました。

大会には県代表として出場したもので、大阪・東京・栃木・秋田の強豪チームを次々に破って勝ち進み、愛知県代表との決勝戦に臨みました。結果は接戦の末惜しくも敗れましたが、本町の剣道水準の高さを示しました。

なお、出場選手は次のとおり  
(先鋒)山中登志彦(次鋒)内村圭一  
(中堅)今村弘志 (副将)坂元卓郎  
(大将)石川 修



### 岩崎宣雄氏が 文部大臣賞を受賞!!

前教育長の岩崎宣雄氏が、先ほど地方教育行政功労者として文部大臣賞を受賞されました。

氏は、四十年間教職を務められた後、昭和五十四年十一月教育長に就任され、以来二期八年にわたる本町の教育振興に尽されました。

この間、各小中学校の増改築や地区公民館の建設、町史改訂、三股西小の新設事業などを数多くの



### 少年の船で貴重な体験 小中学生11名

七月二十七日から四泊五日の日程で沖縄県に派遣された「県少年の船」に、本町から十一名の小中学生が参加しました。

少年の船は、団体生活を通して健全な少年少女を育成しようとする毎年実施されているもの。

参加者は、船内での団体生活や那覇市内の小中学生と交歓を行い夏休みの貴重な体験をしました。

本町からの参加者は次のとおり  
(小学生)大脇雄憲 黒木泰亮 田口正子 甲斐千暁 飛松記子 指宿宏美 (中学生)東博史 篠原明子 甲斐薫 佐土平清美 北畑浩介



### ふれあい花壇づくり に取り組み

三股小前の五差路の花壇に、今赤と白の花が咲いて道行く人の目を楽させています。

これは、三股中学生徒会とPTAが六月に苗植えた花スベリヒユと日草二百五十本が一斉に花を咲かせたもの。

同中では、花のある町づくりに取り組んでおり、昨年四月に五差路に「ふれあい花壇」を設置、四季折々の花を植え、日曜日ごとに当番制で手入れを行っています。

お知らせ



△第二次試験

第一次試験合格者に対して十一月中旬実施。

◎試験の方法

△第一次試験…作文試験

△第二次試験…身体検査・人物試験

◎受験手続

○申込用紙等

三股町社会福祉協議会職員

(在宅老人デイ・サービスセンター勤務)

採用試験について

◎試験の日時・場所

△第一次試験

日時 昭和六十三年十月九日(日)

午前八時三十分受付

場所 三股町立三股中学校

◎職種・採用人員及び受験資格

職 種	採用予定人員	受 験		資 格	条 件
		年 齢	性 別		
寮母(父)	二名程度	昭和十年一月一日から昭和二十三年十二月三十一日まで生まれた者	男子	大型自動車運転免許以上を有する者	・町内に居住する者に限る ・学歴は問わない
運転手	一名	昭和十三年一月一日から昭和二十五年十二月三十一日まで生まれた者	性別は問わない	看護婦・看護士・調理師・社会福祉主事のいずれかの資格を有する者	

受験申込書は、町社会福祉協議会事務局又は役場福祉生活課で交付します。

○受付期間

受験申込の受付は、八月二十五日(木)から九月二十日(火)まで。

※受験についての問い合わせは、町社会福祉協議会事務局

(☎五二―一二四六)又は

役場福祉生活課

(☎五二―一一一一)まで。

今月の納税  
県町民税2期  
保 險 税2期

愛の献血



次のとおり献血にご協力いただきました。ありがとうございます。

●七月二十八日

(有)福永樹脂工業 八十八名  
光陽電器株式会社

今後とも皆様のあたたかいご協力をよろしく願います。

一般寄付

都三シティひろせ本店

スーパervalley

小牧文具店

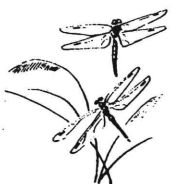
ファーストフードアトム

五万円

夏祭り納涼大会に際し、社会福祉事業に役立てて下さいとご寄付いただきました。

ありがとうございました。

愛の「ご」寄付



三股町社会福祉協議会では、忌明寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございました。

昭和六十三年七月一日から

昭和六十三年七月三十一日まで

寄付者 続柄 故人名 地区 金額

児玉 行重 妻 ミツエ 大野 五万円

神宮司エ 義母 エン 山王原 五万円

原田 ミツ 夫 哲夫 上米 二万円

茨木 重昭 母 イマ切 三万円

吉留 輝也 父 為好 蓼池 二万円

森木 勇 弟 昇 森木 二万円

松永 光則 妻 笑子 三原 三万円

前田 利治 妻 アキ 山王原 三万円

三股町の人口

昭和63年8月1日現在

人口19,855人 出生32人  
男 9,399人 死亡10人  
女 10,456人 転入86人  
転出63人

世帯数 6,441戸  
前月比 +45人